



大地の実り

水戸市立下大野小学校
学校便り NO. 16
平成29年1月6日



新年あけましておめでとうございます。
今年もどうぞよろしく願っています。

新しい年2017年が幕を開けました。今年は、下大野小学校にとってどんな年になるのでしょうか。やはり、心より願うのは、子どもたちの健やかな成長です。年のスタートに、次のような話をしました。

(略)さて、今年は何年でしょう。はい酉年です。とりというのは難しい漢字で書くと「酉」と書きます。何を意味するかって？これですね。「」（他にもあるかもしれませんが代表です。）

酉年というのは、よいことを取り込む年 先取りする年 なにか努力してきたことが実る年 といわれています。また今年は同時に、「変革の年」「変わる年」で世の中の仕組みやシステムが、大きく変わる年であるとも言われています。革命などが起きやすい年でもあるそうです。

校長先生はそんな酉年に、みなさんには「チャレンジする年」にしてほしいと提案します。初詣などしたでしょうか。何か願いをしましたか？「1年の計は元旦にあり」と言いますが、今年目標を立て、計画を練ったでしょうか。お願い事だけでも目標は叶えられません。その人が目標をもってどれだけ努力したかが大事です。フィギュアスケーターの羽生弓弦選手の4回転ジャンプや、プロ野球のイチロー選手の3000本安打に、毎日毎日の絶えまぬ努力があったように、目標を立てて努力することが大事です。努力のないところに達成はありません。

これは例えば「山登り」のようなものです。目標に向かうというのは山に登るようなものです。高い山は高い目標、低い山は低い目標のようなものかもしれません。山に登るにはそこに登りたい、いつかはその頂上に立ちたいと願って最初の一步を踏み出さなければ、山に登る、つまり目標としたことの達成に到達することはできません。一步を踏み出して努力することが大事です。無理なことや、障害があってもうまくできないときもあるけれど、何とか解決しようとしたり、ゆっくりでもいいから前に進んだりしたら、目標に近づくことができます。



だれかこの中の人（児童）が去年言っていましたよ。「千里の道も一歩から」と。誰でしたか？

「やってみよう」に価値があるのです。途中の障害は少しずつクリアしていきましょう。よいことは取り込む、先取りし、実らせるのです。それこそ酉年です。さあ目標に向かってチャレンジしましょう。みなさんは体も心も頭も柔らかい今が1番伸びる時です。みなさんには、無限の可能性があるので。今年1年がみなさんにとってよい年になりますように。

3学期がんばること —始業式での発表から—

【3年生】 代表で3人が発表しました。

- わたしが3学期にがんばりたいことは2つあります。1つ目は漢字です。私は計算が得意で漢字ができないので、3学期には漢字をがんばって春休みまでにやりたいです。2つ目は習字です。夏休みにお姉ちゃんに「木」という字を教わって、「木」が上手く書けました。でも他の字は思い通りには書けませんでした。4年生になったらもっとがんばりたいです。(雲井 琴那)



- ・ わたしは2つがんばりたいことがあります。1つ目は漢字です。漢字の勉強があったら、プラス1(ワン)でやりたいと思います。漢字テストでは百点をたくさんとって、「漢字名人」と呼ばれたいです。春休み前に終わらせて、春休みになったら4年生の予習をしたいです。2つ目は体育です。まだ私はなわ跳び記録会で跳ぶ二重跳びができないので、土日や時間があつた時には、二重跳びを練習して、出来なくてもあきらめないようにしたいです。本番では3位以内に入れるようにしたいです。このことを守って3学期を終わらせ、4年生になりたいです。(林 萌奈)

- ・ わたしが3学期にがんばりたいことは2つあります。1つ目はドリルです。1学期や2学期は進まなかったので、3学期はもっと進めたいです。2つ目はなわ跳びです。二重跳びの最高記録は20回だったので、30回に増やしたいです。休み時間もたくさん練習をしてがんばりたいです。スポーツチャレンジも楽しみです。(白土 優陽)

【5年生】 全員が一言ずつ発表しました。

- ・ ぼくは3学期ドリルをがんばりたいです。日数が少ないので計画的に1日に3つ以上ドリルをしたいです。(市毛 智也)
- ・ ぼくは下級生にやさしくしたいです。もうすぐ最高学年になるので、みんなにやさしくできる6年生になりたいです。(大和田 拓夢)
- ・ テストで百点をいっぱい取りたいです。そのために勉強に集中して一生懸命がんばりたいです。(荻谷 碧衣)
- ・ ぼくはドリルをがんばりたいです。そのために残りの数を計算して、決まった数やっていきたいです。(澤畠 颯太)
- ・ ぼくはそうじをがんばりたいです。すみずみまできれいにして学校をピカピカにしたいです。(庄司 直樹)
- ・ ぼくはなわ跳びをがんばりたいです。そのためにいっぱい練習をして、二重跳びが90回以上跳べるようになります。(鈴木 陽翔)
- ・ 私はそうじをがんばりたいです。すみずみまできれいにして下級生のお手本になりたいです。(高橋 にこ)
- ・ 私はなわ跳びをがんばりたいです。三重跳びが飛べるようになったので、四重跳びが跳べるようになります。(高橋 梨乃)
- ・ ぼくは3学期のクラブをがんばりたいです。実験をするときは、進んでやりたいです。(中村 公洋)
- ・ ぼくは3学期に勉強をがんばりたいです。そのために、宿題で出たドリル以外に自主的に勉強を進めていきたいです。(久野 鉄太)
- ・ 私は勉強をがんばりたいです。特に学力診断テストでは毎日復習をして、全教科90点以上、できれば100点をとれるようにしたいです。(久野 真愛)
- ・ 私はこの3学期に4教科をがんばりたいです。特に算数が苦手なので、算数を復習したり、分からないところは教えてもらったりして他の教科もがんばってみたいです。(人見 果凜)
- ・ ぼくは英語をがんばりたいです。そのためにもっと英語を覚えて、いつかアメリカの人といろいろしゃべってみたいです。(檜山 翼)
- ・ 私は委員会の仕事を積極的に進んでやりたいです。体育館をみんなが使いやすいようにしたいです。(桧山 菜々美)
- ・ ぼくは習字が上手になりたいです。そのために今習っている習字を、いつもよりも集中して取り組みたいです。(吉川 聖)



1月7日(土) 8日(日) 9日(月)と三連休です。

- ・ 11日(水) 12日(木)は学力診断のためのテストです。この三連休、生活のリズムを狂わせないようにしたいものです。また気が緩みがちになるので、安全な生活に心がけたいものです。

【学力診断テスト 勉強の仕方】

今までのテストで、できなかったところを復習してみる。なぜまちがいだったのか考えてみる。特に、算数や社会、理科は、教科書に戻って見直しておくとういでしょう。習った時に戻って教科書を見直すのは、よい勉強方法です。



大地の実り

水戸市立下大野小学校
学校便り NO. 16
平成29年1月6日



新年あけましておめでとうございます。
今年もどうぞよろしく願っています。

新しい年2017年が幕を開けました。今年は、下大野小学校にとってどんな年になるのでしょうか。やはり、心より願うのは、子どもたちの健やかな成長です。年のスタートに、次のような話をしました。

(略) さて、今年は何年でしょう。はい酉年です。とりというのは難しい漢字で書くと「酉」と書きます。何を意味するかって？これですね。「」(他にもあるかもしれませんが代表です。)

酉年というのは、よいことを取り込む年 先取りする年 なにか努力してきたことが実る年 といわれています。また今年と同時に、「変革の年」「変わる年」で世の中の仕組みやシステムが、大きく変わる年であるとも言われています。革命などが起きやすい年でもあるそうです。

校長先生はそんな酉年に、みなさんには「チャレンジする年」にしてほしいと提案します。初詣などしたでしょうか。何か願いをしましたか？「1年の計は元旦にあり」と言いますが、今年の目標を立て、計画を練ったでしょうか。お願い事だけでも目標は叶えられません。その人が目標をもってどれだけ努力したかが大事です。フィギュアスケーターの羽生弓弦選手の4回転ジャンプや、プロ野球のイチロー選手の3000本安打に、毎日毎日の絶えまぬ努力があったように、目標を立てて努力することが大事です。努力のないところに達成はありません。

これは例えば「山登り」のようなものです。目標に向かうというのは山に登るようなものです。高い山は高い目標、低い山は低い目標のようなものかもしれません。山に登るにはそこに登りたい、いつかはその頂上に立ちたいと願って最初の一步を踏み出さなければ、山に登る、つまり目標としたことの達成に到達することはできません。一步を踏み出して努力することが大事です。無理なことや、障害があってもうまくできないときもあるけれど、何とか解決しようとしたら、ゆっくりでもいいから前に進んだりしたら、目標に近づくことができます。



だれかこの中の人(児童)が去年言っていましたよ。「千里の道も一步から」と。誰でしたか？

「やってみよう」に価値があるのです。途中の障害は少しずつクリアしていきましょう。よいことは取り込む、先取りし、実らせるのです。それこそ酉年です。さあ目標に向かってチャレンジしましょう。みなさんは体も心も頭も柔らかい今が1番伸びる時です。みなさんには、無限の可能性があるので。今年1年がみなさんにとってよい年になりますように。

3学期がんばること —始業式での発表から—

【3年生】 代表で3人が発表しました。

- わたしが3学期にがんばりたいことは2つあります。1つ目は漢字です。私は計算が得意で漢字ができないので、3学期には漢字をがんばって春休みまでにやりたいです。2つ目は習字です。夏休みにお姉ちゃんに「木」という字を教わって、「木」が上手く書けました。でも他の字は思い通りには書けませんでした。4年生になったらもっとがんばりたいです。(雲井 琴那)



- ・ わたしは2つがんばりたいことがあります。1つ目は漢字です。漢字の勉強があったら、プラス1(ワン)でやりたいと思います。漢字テストでは百点をたくさんとって、「漢字名人」と呼ばれたいです。春休み前に終わらせて、春休みになったら4年生の予習をしたいです。2つ目は体育です。まだ私はなわ跳び記録会で跳ぶ二重跳びができないので、土日や時間があつた時には、二重跳びを練習して、出来なくてもあきらめないようにしたいです。本番では3位以内に入れるようにしたいです。このことを守って3学期を終わらせ、4年生になりたいです。(林 萌奈)

- ・ わたしが3学期にがんばりたいことは2つあります。1つ目はドリルです。1学期や2学期は進まなかったので、3学期はもっと進めたいです。2つ目はなわ跳びです。二重跳びの最高記録は20回だったので、30回に増やしたいです。休み時間もたくさん練習をしてがんばりたいです。スポーツチャレンジも楽しみです。(白土 優陽)

【5年生】 全員が一言ずつ発表しました。

- ・ ぼくは3学期ドリルをがんばりたいです。日数が少ないので計画的に1日に3つ以上ドリルをしたいです。(市毛 智也)
- ・ ぼくは下級生にやさしくしたいです。もうすぐ最高学年になるので、みんなにやさしくできる6年生になりたいです。(大和田 拓夢)
- ・ テストで百点をいっぱい取りたいです。そのために勉強に集中して一生懸命がんばりたいです。(荻谷 碧衣)
- ・ ぼくはドリルをがんばりたいです。そのために残りの数を計算して、決まった数やっていきたいです。(澤畠 颯太)
- ・ ぼくはそうじをがんばりたいです。すみずみまできれいにして学校をピカピカにしたいです。(庄司 直樹)
- ・ ぼくはなわ跳びをがんばりたいです。そのためにいっぱい練習をして、二重跳びが90回以上跳べるようになりたいです。(鈴木 陽翔)
- ・ 私はそうじをがんばりたいです。すみずみまできれいにして下級生のお手本になりたいです。(高橋 にこ)
- ・ 私はなわ跳びをがんばりたいです。三重跳びが飛べるようになったので、四重跳びが跳べるようになりたいです。(高橋 梨乃)
- ・ ぼくは3学期のクラブをがんばりたいです。実験をするときは、進んでやりたいです。(中村 公洋)
- ・ ぼくは3学期に勉強をがんばりたいです。そのために、宿題で出たドリル以外に自主的に勉強を進めていきたいです。(久野 鉄太)
- ・ 私は勉強をがんばりたいです。特に学力診断テストでは毎日復習をして、全教科90点以上、できれば100点をとれるようにしたいです。(久野 真愛)
- ・ 私はこの3学期に4教科をがんばりたいです。特に算数が苦手なので、算数を復習したり、分からないところは教えてもらったりして他の教科もがんばってみたいです。(人見 果凜)
- ・ ぼくは英語をがんばりたいです。そのためにもっと英語を覚えて、いつかアメリカの人といろいろしゃべってみたいです。(檜山 翼)
- ・ 私は委員会の仕事を積極的に進んでやりたいです。体育館をみんなが使いやすいようにしたいです。(桧山 菜々美)
- ・ ぼくは習字が上手になりたいです。そのために今習っている習字を、いつもよりも集中して取り組みたいです。(吉川 聖)



1月7日(土)8日(日)9日(月)と三連休です。

- ・ 11日(水)12日(木)は学力診断のためのテストです。この三連休、生活のリズムを狂わせないようにしたいものです。また気が緩みがちになるので、安全な生活に心がけたいものです。

【学力診断テスト 勉強の仕方】

今までのテストで、できなかったところを復習してみる。なぜまちがいだったのか考えてみる。特に、算数や社会、理科は、教科書に戻って見直しておくとういでしょう。習った時に戻って教科書を見直すのは、よい勉強方法です。



大地の実り

水戸市立下大野小学校
学校便り NO. 16
平成29年1月6日



新年あけましておめでとうございます。
今年もどうぞよろしく願っています。

新しい年2017年が幕を開けました。今年は、下大野小学校にとってどんな年になるのでしょうか。やはり、心より願うのは、子どもたちの健やかな成長です。年のスタートに、次のような話をしました。

(略)さて、今年は何年でしょう。はい酉年です。とりというのは難しい漢字で書くと「酉」と書きます。何を意味するかって？これですね。「」（他にもあるかもしれませんが代表です。）

酉年というのは、よいことを取り込む年 先取りする年 なにか努力してきたことが実る年 といわれています。また今年は同時に、「変革の年」「変わる年」で世の中の仕組みやシステムが、大きく変わる年であるとも言われています。革命などが起きやすい年でもあるそうです。

校長先生はそんな酉年に、みなさんには「チャレンジする年」にしてほしいと提案します。初詣などしたでしょうか。何か願いをしましたか？「1年の計は元旦にあり」と言いますが、今年の目標を立て、計画を練ったでしょうか。お願い事だけでも目標は叶えられません。その人が目標をもってどれだけ努力したかが大事です。フィギュアスケーターの羽生弓弦選手の4回転ジャンプや、プロ野球のイチロー選手の3000本安打に、毎日毎日の絶えまぬ努力があったように、目標を立てて努力することが大事です。努力のないところに達成はありません。

これは例えば「山登り」のようなものです。目標に向かうというのは山に登るようなものです。高い山は高い目標、低い山は低い目標のようなものかもしれません。山に登るにはそこに登りたい、いつかはその頂上に立ちたいと願って最初の一步を踏み出さなければ、山に登る、つまり目標としたことの達成に到達することはできません。一步を踏み出して努力することが大事です。無理なことや、障害があってもうまくできないときもあるけれど、何とか解決しようとしたり、ゆっくりでもいいから前に進んだりしたら、目標に近づくことができます。



だれかこの中の人（児童）が去年言っていましたよ。「千里の道も一步から」と。誰でしたか？

「やってみよう」に価値があるのです。途中の障害は少しずつクリアしていきましょう。よいことは取り込む、先取りし、実らせるのです。それこそ酉年です。さあ目標に向かってチャレンジしましょう。みなさんは体も心も頭も柔らかい今が1番伸びる時です。みなさんには、無限の可能性があるので。今年1年がみなさんにとってよい年になりますように。

3学期がんばること —始業式での発表から—

【3年生】 代表で3人が発表しました。

- わたしが3学期にがんばりたいことは2つあります。1つ目は漢字です。私は計算が得意で漢字ができないので、3学期には漢字をがんばって春休みまでにやりたいです。2つ目は習字です。夏休みにお姉ちゃんに「木」という字を教わって、「木」が上手く書けました。でも他の字は思い通りには書けませんでした。4年生になったらもっとがんばりたいです。（雲井 琴那）



- ・ わたしは2つがんばりたいことがあります。1つ目は漢字です。漢字の勉強があったら、プラス1(ワン)でやりたいと思います。漢字テストでは百点をたくさんとって、「漢字名人」と呼ばれたいです。春休み前に終わらせて、春休みになったら4年生の予習をしたいです。2つ目は体育です。まだ私はなわ跳び記録会で跳ぶ二重跳びができないので、土日や時間があった時には、二重跳びを練習して、出来なくてもあきらめないようにしたいです。本番では3位以内に入れるようにしたいです。このことを守って3学期を終わらせ、4年生になりたいです。(林 萌奈)

- ・ わたしが3学期にがんばりたいことは2つあります。1つ目はドリルです。1学期や2学期は進まなかったの、3学期はもっと進めたいです。2つ目はなわ跳びです。二重跳びの最高記録は20回だったので、30回に増やしたいです。休み時間もたくさん練習をしてがんばりたいです。スポーツチャレンジも楽しみです。(白土 優陽)

【5年生】 全員が一言ずつ発表しました。

- ・ ぼくは3学期ドリルをがんばりたいです。日数が少ないので計画的に1日に3つ以上ドリルをしたいです。(市毛 智也)
- ・ ぼくは下級生にやさしくしたいです。もうすぐ最高学年になるので、みんなにやさしくできる6年生になりたいです。(大和田 拓夢)
- ・ テストで百点をいっぱい取りたいです。そのために勉強に集中して一生懸命がんばりたいです。(荻谷 碧衣)
- ・ ぼくはドリルをがんばりたいです。そのために残りの数を計算して、決まった数やっていきたいです。(澤畠 颯太)
- ・ ぼくはそうじをがんばりたいです。すみずみまできれいにして学校をピカピカにしたいです。(庄司 直樹)
- ・ ぼくはなわ跳びをがんばりたいです。そのためにいっぱい練習をして、二重跳びが90回以上跳べるようになりたいです。(鈴木 陽翔)
- ・ 私はそうじをがんばりたいです。すみずみまできれいにして下級生のお手本になりたいです。(高橋 にこ)
- ・ 私はなわ跳びをがんばりたいです。三重跳びが飛べるようになったので、四重跳びが跳べるようになりたいです。(高橋 梨乃)
- ・ ぼくは3学期のクラブをがんばりたいです。実験をするときは、進んでやりたいです。(中村 公洋)
- ・ ぼくは3学期に勉強をがんばりたいです。そのために、宿題で出たドリル以外に自主的に勉強を進めていきたいです。(久野 鉄太)
- ・ 私は勉強をがんばりたいです。特に学力診断テストでは毎日復習をして、全教科90点以上、できれば100点をとれるようにしたいです。(久野 真愛)
- ・ 私はこの3学期に4教科をがんばりたいです。特に算数が苦手なので、算数を復習したり、分からないところは教えてもらったりして他の教科もがんばってみたいです。(人見 果凜)
- ・ ぼくは英語をがんばりたいです。そのためにもっと英語を覚えて、いつかアメリカの人といろいろしゃべってみたいです。(檜山 翼)
- ・ 私は委員会の仕事を積極的に進んでやりたいです。体育館をみんなが使いやすいようにしたいです。(桧山 菜々美)
- ・ ぼくは習字が上手になりたいです。そのために今習っている習字を、いつもよりも集中して取り組みたいです。(吉川 聖)



1月7日(土) 8日(日) 9日(月)と三連休です。

- ・ 11日(水) 12日(木)は学力診断のためのテストです。この三連休、生活のリズムを狂わせないようにしたいものです。また気が緩みがちになるので、安全な生活に心がけたいものです。

【学力診断テスト 勉強の仕方】

今までのテストで、できなかったところを復習してみる。なぜまちがいだったのか考えてみる。特に、算数や社会、理科は、教科書に戻って見直しておくとういでしょう。習った時に戻って教科書を見直すのは、よい勉強方法です。



大地の実り

水戸市立下大野小学校
学校便り NO. 16
平成29年1月6日



新年あけましておめでとうございます。
今年もどうぞよろしく願っています。

新しい年2017年が幕を開けました。今年は、下大野小学校にとってどんな年になるのでしょうか。やはり、心より願うのは、子どもたちの健やかな成長です。年のスタートに、次のような話をしました。

(略)さて、今年は何年でしょう。はい酉年です。とりというのは難しい漢字で書くと「酉」と書きます。何を意味するかって？これですね。「」（他にもあるかもしれませんが代表です。）

酉年というのは、よいことを取り込む年 先取りする年 なにか努力してきたことが実る年 といわれています。また今年は同時に、「変革の年」「変わる年」で世の中の仕組みやシステムが、大きく変わる年であるとも言われています。革命などが起きやすい年でもあるそうです。

校長先生はそんな酉年に、みなさんには「チャレンジする年」にしてほしいと提案します。初詣などしたでしょうか。何か願いをしましたか？「1年の計は元旦にあり」と言いますが、今年の目標を立て、計画を練ったでしょうか。お願い事だけでも目標は叶えられません。その人が目標をもってどれだけ努力したかが大事です。フィギュアスケーターの羽生弓弦選手の4回転ジャンプや、プロ野球のイチロー選手の3000本安打に、毎日毎日の絶えまぬ努力があったように、目標を立てて努力することが大事です。努力のないところに達成はありません。

これは例えば「山登り」のようなものです。目標に向かうというのは山に登るようなものです。高い山は高い目標、低い山は低い目標のようなものかもしれません。山に登るにはそこに登りたい、いつかはその頂上に立ちたいと願って最初の一步を踏み出さなければ、山に登る、つまり目標としたことの達成に到達することはできません。一步を踏み出して努力することが大事です。無理なことや、障害があってもうまくできないときもあるけれど、何とか解決しようとしたり、ゆっくりでもいいから前に進んだりしたら、目標に近づくことができます。



だれかこの中の人（児童）が去年言っていましたよ。「千里の道も一步から」と。誰でしたか？

「やってみよう」に価値があるのです。途中の障害は少しずつクリアしていきましょう。よいことは取り込む、先取りし、実らせるのです。それこそ酉年です。さあ目標に向かってチャレンジしましょう。みなさんは体も心も頭も柔らかい今が1番伸びる時です。みなさんには、無限の可能性があるので。今年1年がみなさんにとってよい年になりますように。

3学期がんばること —始業式での発表から—

【3年生】 代表で3人が発表しました。

- わたしが3学期にがんばりたいことは2つあります。1つ目は漢字です。私は計算が得意で漢字ができないので、3学期には漢字をがんばって春休みまでにやりたいです。2つ目は習字です。夏休みにお姉ちゃんに「木」という字を教わって、「木」が上手く書けました。でも他の字は思い通りには書けませんでした。4年生になったらもっとがんばりたいです。（雲井 琴那）



- ・ わたしは2つがんばりたいことがあります。1つ目は漢字です。漢字の勉強があったら、プラス1(ワン)でやりたいと思います。漢字テストでは百点をたくさんとって、「漢字名人」と呼ばれたいです。春休み前に終わらせて、春休みになったら4年生の予習をしたいです。2つ目は体育です。まだ私はなわ跳び記録会で跳ぶ二重跳びができないので、土日や時間があつた時には、二重跳びを練習して、出来なくてもあきらめないようにしたいです。本番では3位以内に入れるようにしたいです。このことを守って3学期を終わらせ、4年生になりたいです。(林 萌奈)

- ・ わたしが3学期にがんばりたいことは2つあります。1つ目はドリルです。1学期や2学期は進まなかったので、3学期はもっと進めたいです。2つ目はなわ跳びです。二重跳びの最高記録は20回だったので、30回に増やしたいです。休み時間もたくさん練習をしてがんばりたいです。スポーツチャレンジも楽しみです。(白土 優陽)

【5年生】 全員が一言ずつ発表しました。

- ・ ぼくは3学期ドリルをがんばりたいです。日数が少ないので計画的に1日に3つ以上ドリルをしたいです。(市毛 智也)
- ・ ぼくは下級生にやさしくしたいです。もうすぐ最高学年になるので、みんなにやさしくできる6年生になりたいです。(大和田 拓夢)
- ・ テストで百点をいっぱい取りたいです。そのために勉強に集中して一生懸命がんばりたいです。(荻谷 碧衣)
- ・ ぼくはドリルをがんばりたいです。そのために残りの数を計算して、決まった数やっていきたいです。(澤畠 颯太)
- ・ ぼくはそうじをがんばりたいです。すみずみまできれいにして学校をピカピカにしたいです。(庄司 直樹)
- ・ ぼくはなわ跳びをがんばりたいです。そのためにいっぱい練習をして、二重跳びが90回以上跳べるようになりたいです。(鈴木 陽翔)
- ・ 私はそうじをがんばりたいです。すみずみまできれいにして下級生のお手本になりたいです。(高橋 にこ)
- ・ 私はなわ跳びをがんばりたいです。三重跳びが飛べるようになったので、四重跳びが跳べるようになりたいです。(高橋 梨乃)
- ・ ぼくは3学期のクラブをがんばりたいです。実験をするときは、進んでやりたいです。(中村 公洋)
- ・ ぼくは3学期に勉強をがんばりたいです。そのために、宿題で出たドリル以外に自主的に勉強を進めていきたいです。(久野 鉄太)
- ・ 私は勉強をがんばりたいです。特に学力診断テストでは毎日復習をして、全教科90点以上、できれば100点をとれるようにしたいです。(久野 真愛)
- ・ 私はこの3学期に4教科をがんばりたいです。特に算数が苦手なので、算数を復習したり、分からないところは教えてもらったりして他の教科もがんばってみたいです。(人見 果凜)
- ・ ぼくは英語をがんばりたいです。そのためにもっと英語を覚えて、いつかアメリカの人といろいろしゃべってみたいです。(檜山 翼)
- ・ 私は委員会の仕事を積極的に進んでやりたいです。体育館をみんなが使いやすいようにしたいです。(桧山 菜々美)
- ・ ぼくは習字が上手になりたいです。そのために今習っている習字を、いつもよりも集中して取り組みたいです。(吉川 聖)



1月7日(土)8日(日)9日(月)と三連休です。

- ・ 11日(水)12日(木)は学力診断のためのテストです。この三連休、生活のリズムを狂わせないようにしたいものです。また気が緩みがちになるので、安全な生活に心がけたいものです。

【学力診断テスト 勉強の仕方】

今までのテストで、できなかったところを復習してみる。なぜまちがいだったのか考えてみる。特に、算数や社会、理科は、教科書に戻って見直しておくとういでしょう。習った時に戻って教科書を見直すのは、よい勉強方法です。



大地の実り

水戸市立下大野小学校
学校便り NO. 16
平成29年1月6日



新年あけましておめでとうございます。
今年もどうぞよろしく願っています。

新しい年2017年が幕を開けました。今年は、下大野小学校にとってどんな年になるのでしょうか。やはり、心より願うのは、子どもたちの健やかな成長です。年のスタートに、次のような話をしました。

(略)さて、今年は何年でしょう。はい酉年です。とりというのは難しい漢字で書くと「酉」と書きます。何を意味するかって？これですね。「」（他にもあるかもしれませんが代表です。）

酉年というのは、よいことを取り込む年 先取りする年 なにか努力してきたことが実る年 といわれています。また今年は同時に、「変革の年」「変わる年」で世の中の仕組みやシステムが、大きく変わる年であるとも言われています。革命などが起きやすい年でもあるそうです。

校長先生はそんな酉年に、みなさんには「チャレンジする年」にしてほしいと提案します。初詣などしたでしょうか。何か願いをしましたか？「1年の計は元旦にあり」と言いますが、今年目標を立て、計画を練ったでしょうか。お願い事だけでも目標は叶えられません。その人が目標をもってどれだけ努力したかが大事です。フィギュアスケーターの羽生弓弦選手の4回転ジャンプや、プロ野球のイチロー選手の3000本安打に、毎日毎日の絶えまぬ努力があったように、目標を立てて努力することが大事です。努力のないところに達成はありません。

これは例えば「山登り」のようなものです。目標に向かうというのは山に登るようなものです。高い山は高い目標、低い山は低い目標のようなものかもしれません。山に登るにはそこに登りたい、いつかはその頂上に立ちたいと願って最初の一步を踏み出さなければ、山に登る、つまり目標としたことの達成に到達することはできません。一步を踏み出して努力することが大事です。無理なことや、障害があってもうまくできないときもあるけれど、何とか解決しようとしたり、ゆっくりでもいいから前に進んだりしたら、目標に近づくことができます。



だれかこの中の人（児童）が去年言っていましたよ。「千里の道も一步から」と。誰でしたか？

「やってみよう」に価値があるのです。途中の障害は少しずつクリアしていきましょう。よいことは取り込む、先取りし、実らせるのです。それこそ酉年です。さあ目標に向かってチャレンジしましょう。みなさんは体も心も頭も柔らかい今が1番伸びる時です。みなさんには、無限の可能性があるので。今年1年がみなさんにとってよい年になりますように。

3学期がんばること —始業式での発表から—

【3年生】 代表で3人が発表しました。

- わたしが3学期にがんばりたいことは2つあります。1つ目は漢字です。私は計算が得意で漢字ができないので、3学期には漢字をがんばって春休みまでにやりたいです。2つ目は習字です。夏休みにお姉ちゃんに「木」という字を教わって、「木」が上手く書けました。でも他の字は思い通りには書けませんでした。4年生になったらもっとがんばりたいです。（雲井 琴那）



- ・ わたしは2つがんばりたいことがあります。1つ目は漢字です。漢字の勉強があったら、プラス1(ワン)でやりたいと思います。漢字テストでは百点をたくさんとって、「漢字名人」と呼ばれたいです。春休み前に終わらせて、春休みになったら4年生の予習をしたいです。2つ目は体育です。まだ私はなわ跳び記録会で跳ぶ二重跳びができないので、土日や時間があつた時には、二重跳びを練習して、出来なくてもあきらめないようにしたいです。本番では3位以内に入れるようにしたいです。このことを守って3学期を終わらせ、4年生になりたいです。(林 萌奈)

- ・ わたしが3学期にがんばりたいことは2つあります。1つ目はドリルです。1学期や2学期は進まなかったので、3学期はもっと進めたいです。2つ目はなわ跳びです。二重跳びの最高記録は20回だったので、30回に増やしたいです。休み時間もたくさん練習をしてがんばりたいです。スポーツチャレンジも楽しみです。(白土 優陽)

【5年生】 全員が一言ずつ発表しました。

- ・ ぼくは3学期ドリルをがんばりたいです。日数が少ないので計画的に1日に3つ以上ドリルをしたいです。(市毛 智也)
- ・ ぼくは下級生にやさしくしたいです。もうすぐ最高学年になるので、みんなにやさしくできる6年生になりたいです。(大和田 拓夢)
- ・ テストで百点をいっぱい取りたいです。そのために勉強に集中して一生懸命がんばりたいです。(荻谷 碧衣)
- ・ ぼくはドリルをがんばりたいです。そのために残りの数を計算して、決まった数やっていきたいです。(澤畠 颯太)
- ・ ぼくはそうじをがんばりたいです。すみずみまできれいにして学校をピカピカにしたいです。(庄司 直樹)
- ・ ぼくはなわ跳びをがんばりたいです。そのためにいっぱい練習をして、二重跳びが90回以上跳べるようになりたいです。(鈴木 陽翔)
- ・ 私はそうじをがんばりたいです。すみずみまできれいにして下級生のお手本になりたいです。(高橋 にこ)
- ・ 私はなわ跳びをがんばりたいです。三重跳びが飛べるようになったので、四重跳びが跳べるようになりたいです。(高橋 梨乃)
- ・ ぼくは3学期のクラブをがんばりたいです。実験をするときは、進んでやりたいです。(中村 公洋)
- ・ ぼくは3学期に勉強をがんばりたいです。そのために、宿題で出たドリル以外に自主的に勉強を進めていきたいです。(久野 鉄太)
- ・ 私は勉強をがんばりたいです。特に学力診断テストでは毎日復習をして、全教科90点以上、できれば100点をとれるようにしたいです。(久野 真愛)
- ・ 私はこの3学期に4教科をがんばりたいです。特に算数が苦手なので、算数を復習したり、分からないところは教えてもらったりして他の教科もがんばってみたいです。(人見 果凜)
- ・ ぼくは英語をがんばりたいです。そのためにもっと英語を覚えて、いつかアメリカの人といろいろしゃべってみたいです。(檜山 翼)
- ・ 私は委員会の仕事を積極的に進んでやりたいです。体育館をみんなが使いやすいようにしたいです。(桧山 菜々美)
- ・ ぼくは習字が上手になりたいです。そのために今習っている習字を、いつもよりも集中して取り組みたいです。(吉川 聖)



1月7日(土)8日(日)9日(月)と三連休です。

- ・ 11日(水)12日(木)は学力診断のためのテストです。この三連休、生活のリズムを狂わせないようにしたいものです。また気が緩みがちになるので、安全な生活に心がけたいものです。

【学力診断テスト 勉強の仕方】

今までのテストで、できなかったところを復習してみる。なぜまちがいだったのか考えてみる。特に、算数や社会、理科は、教科書に戻って見直しておくとういでしょう。習った時に戻って教科書を見直すのは、よい勉強方法です。